

令和4年度環境報告書に対して寄せられた意見と市の考え方

入間市では、令和4年12月1日から令和4年12月28日までの期間で、令和3年度における入間市の環境の現状と「第三次入間市環境基本計画」に基づいた指標の評価を年次報告書としてまとめた、「令和4年度版いるましの環境 第三次入間市環境基本計画環境報告書」に関して、市民のみなさまの意見募集を行いました。その結果、2人の方から4件のご意見が寄せられました。寄せられたご意見と、それに対する市の考え方は次の通りです。

No.	箇所	ご意見等	市の考え方(対応)
1	23 ページ	地球温暖化対策を推進するならば、電気自動車の購入に対する補助金を交付しない理由を説明すべき	<p>補助金の交付対象については、限られた財源の中で地球温暖化対策を推進するため、市として、より効果的に施策に反映できるよう検討しています。</p> <p>令和4年度は、電気自動車を再生可能エネルギーの活用設備として使用していただくと同時に、災害時の備えにもしていただきたいと考え、太陽光発電設備とHEMSの設置を条件に、V2H充放電設備の導入に対して補助金を交付しています。</p> <p>今後もゼロカーボンシティ実現に向けて、補助金の対象を含め、施策の検討を重ねてまいります。</p>
2	24 ページ	令和2年度実績値 37,186 と令和3年度 32,478 となっているが、どのようにして算出したのか？数値に対する説得力がない。また、集計方法を見直した理由がわからない。評価も「悪化」となっているのだから、その理由も説明すべき。	<p>数値の詳細については、第3章(P68～P72)で詳細に説明しています。ご指摘のページからは、そのことが読み取れないため、次年度以降の報告書作成時には適切な説明を追記させていただきます。</p> <p>集計方法の見直しについては、プラスチックごみの焼却により排出される二酸化炭素の算定方法が国の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」と異なっていたため、国のマニュアルに合わせる形で計算方法を修正したものです。</p> <p>評価が「悪化」となっていることについては、現況値(平成30年度)、前年度より二酸化炭素排出量が減少しているため、「目標に向けて進展」の誤りでした。修正箇所については市公式ホームページでお知らせします。</p>

3	48 ページ	<p>「入間市文化協会から郷土芸能連合会に対して、155,800 円の助成金を給付しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた事業は実施できませんでした。」と記載しているが、事業が実施できていないのに令和4年度以降も助成金を給付する理由は何ですか。会計決算の繰越金はどうなっているのか、支払明細書はどうなっているのか、きちんと公開すべきではないですか。</p>	<p>入間市文化協会から郷土芸能連合会に対して給付した助成金については、主に、郷土芸能連合会の構成団体である、各地域の囃子連等の 10 団体に対する活動助成資金として、15,000 円ずつ分配するための資金として助成したものです。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった事業は、郷土芸能連合会として計画していた、総会の開催や各種イベントへの参加を指しており、活動助成金の対象となった地域の各団体における個々の活動は、コロナ禍で大きく制約は受けたものの、それぞれに実施されたものと考えております。</p>
4	64 ページ	<p>「5 団体に補助金を交付し、活動を支援しました。令和 4 年度以降も継続して実施する予定です。」と記載しているが、補助金を交付してどのような効果があったか、数値で説明すべきではないですか。これでは効果が無くても、5団体に補助金を交付すれば目標達成という、自己満足以外の何物でもない。</p>	<p>各団体には、ボランティア活動として地域の清掃活動や環境美化、環境啓発活動などに取組んでいただいています。</p> <p>補助金交付の目的は、これらの活動に必要な経費を補助し、活動の支援をすることです。なお、令和3年度における活動実績は別紙「補助対象団体の令和3年度活動実績」のとおりです。</p> <p>いただいたご意見を踏まえて、次年度以降は、補助金の使用目的が伝わる説明とさせていただきます。</p>

補助対象団体の令和3年度活動実績

入間市環境まちづくり会議

市民、事業者、民間団体、行政が参加し、協働で環境保全活動を行うことを目的としています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、活動内容の一部を縮減し、市内のごみ拾いや、省エネの取組に対する啓発活動が主な活動内容となりました。

○令和3年度 活動実績

活動内容	実施日	参加人数	備考
エコライフ DAY	R3.7~R3.9 R3.12~R4.2	1,258 人	県啓発事業協力
ごみひろい隊	R3.12.17	27 人	
会報発行	R4.3.31	—	環境啓発記事を掲載

入間市衛生自治会

ポイ捨て防止啓発活動や衛生美化キャンペーン、公共用地内の桜の木等の害虫防除、蜂駆除用防護服の貸出し、飼い主のいない猫の去勢不妊手術助成を行い、地域の環境美化及び生活環境の維持向上に貢献しています。

○令和3年度 活動実績

活動内容	実施日	実施地区 参加人数	備考
ポイ捨てゼロ推進運動	中止(コロナ)		
ポイ捨て防止啓発用のぼり旗設置	R3.4.5 ~R4.1.7	19 地区	のぼり旗 251 枚配布
第1回衛生美化キャンペーン	R3.12.5	34 地区 約 3,700 人	空き缶等の ゴミ拾い
第2回衛生美化キャンペーン	R4.3.6	24 地区 約 2,000 人	空き缶等の ゴミ拾い
公共用地内の樹木害虫防除	R3.5.4 ~R3.10.13	15 地区 308 人	高木 4,359 本 低木 9,425m
蜂駆除用防護服貸出し	R3.4.1 ~R3.12.13	市内各所	貸出し 19 件
飼い主のいない猫の去勢不妊手術費助成	R3.9.15 R4.3.16	2地区	2頭

河川浄化団体(霞川をきれいにする会、沢田地区をきれいにする会(西武地区の入間川で活動)、入間市不老川をきれいにする会)

各団体とも春、秋の年2回、河川敷等の草刈り、ごみ拾い等清掃活動を実施しており、環境美化、環境保全に貢献しています。

○令和3年度 清掃活動の実績

団体名	実施日	参加人数	草刈り実施面積
霞川を きれいにする会	R3.6.6 秋は中止(コロナ)	約 4,000 人	20,196 m ²
沢田地区を きれいにする会	R3.5.1~R3.8.29 R3.9.11~R3.10.27	約 20 人 約 50 人	6,000 m ² 6,000 m ²
入間市不老川を きれいにする会	R3.6.6 秋は中止(コロナ)	約 1,620 人	29,754 m ²